

## 家畜損害防止関連情報

### ◆多湿期の中毒対策

暑さや梅雨の時期になると、中毒症が増加します。中毒症状は眼球のけいれん、眼瞼下垂（がんけんかすい）、じんましん、食欲減退、下痢などです。その原因は、有毒草や薬物など化学物質によるもの、カビなどで変敗した飼料によるものなど、多種多様で的確な診断が困難な場合が多く、畜主の報告が適切な処置の第一歩となります。

先日、中毒症状を呈した牛の原因が不明で、「えさはいつもどおり」との報告でしたが、聞き取りを繰り返していると、二日前の夕食がカレーライスで、「そのときのジャガイモの皮を食べさせた」とのことで、「ソラニン中毒」と判明し早期に治療しました。高温多湿となり、えさの変敗しやすくなります。このようなえさの給与は即刻中止し、もしも発病したら、えさの給与状態はもらさず獣医師に報告してください。